

特急列車の近距離利用を対象とした駅勢圏の推定

鈴木崇正 松本涼佑 深澤紀子

特急列車の需要には、長距離利用のほか同一県内など近距離の利用も含まれますが、特急列車の近距離利用の需要の把握や予測のための適切なデータや手法が整備されていないことが課題でした。そこで、そのような需要を駅単位で予測するため、特急列車停車駅を対象として、駅利用者が居住する地理的範囲を示す駅勢圏を定量的に推定するモデルを構築しました。モデルの構築にあたっては、特急列車停車駅周辺の居住者を対象とした交通行動に関するアンケート調査を実施し、そのデータを活用したパラメータ推定を行いました。その結果、交通機関の運賃・料金や所要時間などのサービスレベルや、駅までの近接性などに基づいて駅勢圏を定量的に推定できるモデルが得られました。

このモデルの活用により、特急列車停車駅周辺の駅勢圏人口の定量化が可能となり、それに基づく各駅の需要の推定が可能となります。

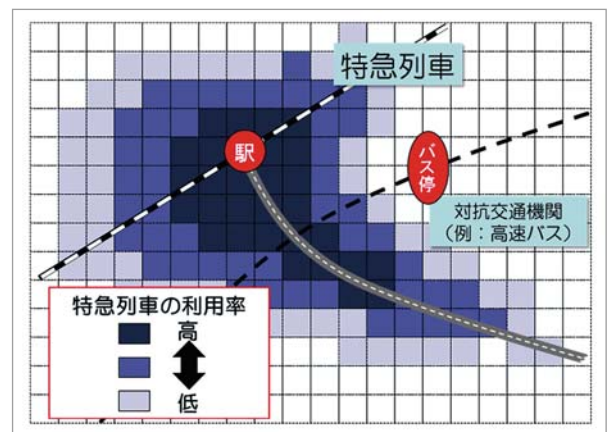


図 特急列車駅勢圏のイメージ